

令和2年（2020年）3月3日公表
八王子市教育委員会
生涯学習スポーツ部生涯学習政策課

「八王子市生涯学習プラン（素案）」 ご意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

「八王子市生涯学習プラン（素案）」について、市民の皆様からいただいたご意見を報告するとともに、市の考えを公表いたします。

記

1 パブリックコメントの概要

【募集期間】

令和元年12月15日（日曜日）から令和2年1月15日（水曜日）まで（必着）

【提出できる方】

市内在住・在勤・在学の方、または市内に事務所・事業所を有する個人及び法人・その他の団体

【閲覧場所】

生涯学習政策課、各生涯学習センター、こども科学館、郷土資料館、各体育館、総合体育館、各図書館、市政資料室、市民部各事務所、各市民センター、市民活動支援センター、保健所、各保健福祉センター

【提出方法】

窓口へ直接お持ちいただくか、郵送、ファックス、Eメールのいずれかの方法

2 意見の提出状況

（1）意見の提出者 12名

（2）提出方法内訳

窓口	郵送	ファックス	電子メール	合計
3	2	0	7	12

（3）意見の件数 31件

3 意見の要旨と市の考え方

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
プラン全般に関する事柄			
1	生涯学習 プラン全般	全体を通して理念はよい。しかし、活用するのは今の小学生である。郷土資料館には小学3年生が見学にくるので、そのアンケートの結果からヒントが得られる。	小学生を含め広く市民の方の意見を取り入れて生涯学習プランを推進していくことは、大切なことと認識しています。ご意見は今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。
2	生涯学習 プラン全般	「例えば」「こんな例はどうだろうか」と例示を用いる。目的の一致した者同士がプロジェクトを作り、自らの課題を解決する。調べ学習を推奨する制度を設ける。資格取得のできる講座を設ける。	素案では施策ごとに具体的な取組を例示していますが、いただいたご意見は生涯学習を進めていく一つの方法であると考えます。今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。
3	生涯学習 プラン全般	全体的に大人目線で計画されている。今どきの子どもと大人の視線には「ずれ」があるので、施設の使い方について小学生にアンケートを依頼してはどうか。教育的、啓蒙的な面とレガシーの両面から施設は活用されると思う。	施設の利用方法について、小学生をはじめ広く市民の方の意見を伺うことは重要と考えています。今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。
4	生涯学習 プラン全般	推進委員には、小学生、中学生、高校生、大学生、一般の専門家の構成が理想ではないか。世界の変化はめまぐるしい。社会もめまぐるしく変わる。その変化に対応するフレキシブルな考えを取り入れて欲しい。	幅広い世代、様々な立場の方の考えを取り入れることは、大切なことと認識しています。今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。
5	生涯学習 プラン全般	生涯学習活動をしている市民の割合について、例年の「60%」を5割アップさせるのはかなり厳しいと思われる。伸ばす要点は、①市民(受講者)の望む講座を提供、②現役世代を取り込む講座の提供、③生涯学習の啓蒙活動・情報提供の3点である。	「八王子ビジョン2022」の目指す姿の実現に向けて、目標値と現状値を踏まえた施策の着実な展開が必要と考えます。素案では目標を「毎年度、前年度を上回る」とし、着実に前進させる所存です。

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
6	生涯学習 プラン全般	生涯学習活動の成果を地域還元している割合について、例年の「9%」を4.5倍にするのはかなり厳しいと思われる。伸ばす要点は、①町会・自治会ぐるみの取り組み、②地域に還元した事項1点につきポイントを付与し、ポイントに応じて景品を提供するといったものである。	「八王子ビジョン2022」の目指す姿の実現に向けて、目標値と現状値を踏まえた施策の着実な展開が必要と考えます。素案では目標を「毎年度、前年度を上回る」とし、着実に前進させる所存です。
7	生涯学習 プラン全般	市民間での交流を促進するために、市役所各部署の垣根を越えて連携を進めていく必要がある。有識者会議も良いが、多くの分野から、実際に利用する若者や子供、保護者や高齢者、独身者など、住民分布にあわせた割合のひとつに来てもらうよう、工夫していったらどうか。	施策024「生涯学習の相談体制の充実」に掲げているとおり、気軽に相談できる体制を整備し、市民の方から生涯学習について幅広くご意見をいただけるよう引き続き充実させます。

基本施策1 誰もが学べる環境づくり ～まなぶ～

8	01 子どもの頃から始める生涯 の学び	川崎夢パークのようなみんなの居場所が八王子にもできて欲しい。	子どもが自由に豊かな外遊びの体験ができる、いわゆるプレーパークについては、事業を実施する人材を育成し、地域の団体の取組を支援していきます。また、地域における子どもの居場所づくりとして、児童館や放課後子ども教室、子ども食堂など、行政・学校・地域が連携して、子どもの成長を支え、様々な体験ができる居場所づくりを行います。今後も引き続き、施策001「子どもたちが体験できる機会の充実」に取り組みます。ご意見を参考に、取組について追記します。
---	---------------------------	--------------------------------	---

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
9	02 人生 100 年時代を見据えた多彩な学習機会の充実	市制 100 周年事業で「八王子市動植物目録」が刊行されたが、文字だけで味気ないものでした。図鑑のように写真があれば、学びの資料としてより有効と思います。逐次、写真を追加する仕組みが欲しい。	今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。
10	02 人生 100 年時代を見据えた多彩な学習機会の充実	オリンピック・パラリンピックのレガシーはないのか。	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の出場国の事前キャンプの受入れをはじめとしたホストタウン交流や大会の機運醸成などの取組を通じて、スポーツ振興や地域の活性化、多様性を尊重する意識や国際感覚の醸成など、本市にとって価値あるレガシーにつなげていきます。ご意見を参考に、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について、追記します。
11	02 人生 100 年時代を見据えた多彩な学習機会の充実	今までは八王子全般という感じでの活動が多くなっていたように見えます。生涯学習は様々な分野を含んでいます。活動頑張ってください。	施策 004「人生を豊かにする多様な講座の提供」で示すように、市民自由講座や八王子学園都市大学（いちよう塾）では、多種多様な分野の講座を設け、実施しております。引き続き様々な分野の講座を実施できるように努めます。
12	03 共生社会実現に向けた生涯学習の支援	視覚障害者が無料で学習でき、教える人に給料がでる仕組みが欲しい。視覚障害の方の学びの機会の増加と質の向上が図られると考える。	視覚障害を含めた障害のある方の学びの機会の増加と質の向上が大切なことは認識しています。視覚障害の方が無料で学ぶ機会の提供は、これまでも心身障害者福祉センターでの各種講座で対応し、講師の方へも謝礼金を支払っています。引き続き、魅力ある講座を提供し、学びの機会の増加、質の向上を図ります。

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
13	03 共生社会実現 に向けた生涯 学習の支援	通勤や通学、営業活動にガイドヘルパーを利用可能にして欲しい。仕事の幅が広がることや仕事を始める障壁が低くなることにつながると考える。	ガイドヘルパー（同行援護）の利用は国の制度に則って運用しており、「経済活動に係る外出」や「通年かつ長期にわたる外出」は支援の対象外となりますが、余暇活動にあたる生涯学習活動では利用できます。
14	03 共生社会実現 に向けた生涯 学習の支援	「障害のある人」「障害のない人」という言い方に疑問・不自然さを感じる。もう少し優しい表現に工夫をお願いしたい。	「障害のある」という表現方法については、社会的な障壁によって生じる「障害」の意味も含んでおり、本市のほか、国や他自治体でも使用しています。御理解ください。
15	03 共生社会実現 に向けた生涯 学習の支援	「共生社会実現」のためには、本人だけでなく、周りの皆がいわゆる障害などの多様性について学習し、理解することが必須だと思うが、それに関して具体的なプランは何かあるか。また「日本語を母語としない人」について補足説明が必要ではないか。	障害理解を深める取組は大切と考え、現在、ガイドブックの活用のほか、「福祉まつり」「障害者文化展」を開催し、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高め、広く障害者福祉の啓発を行っています。また「日本語を母語としない人」の補足説明については、表現などを工夫します。
16	03 共生社会実現 に向けた生涯 学習の支援	「性」とは何でしょう。今どきこの書き方はちょっと雑だなと思う。「性」「国籍」は一括りにしないで欲しい。また、国籍ではなく母語や、出身、文化、アイデンティティ等が重要なのではないか。「国籍にかかわらない社会参画」が日本語として分かりにくく、本当にこのように言ってしまっても良いのか疑問。	「性や国籍にかかわらない社会参画」は、様々な性や、日本で生まれ育った人だけでなく、地域にいるすべての方がつながりを持てることを指しています。

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
17	03 共生社会実現 に向けた生涯 学習の支援	障害者のアート活動(アール・ブリュット)への支援が必要。特に、障害者アートの発表場所が足りなく思う。市役所や公的施設などで展示の公募などをする場合は、ぜひ声掛けしてほしい。発表の場があることで、障害者の創作意欲は非常に向上する。	障害のある人に、生涯にわたる多様な学びを提供するために、障害者アートの発表場所の確保は重要と考えます。本市においては「障害者文化展」の名称で障害のある人のアート活動の発表の場を設けていますが、さらに障害のある人のアート活動への支援に取り組みます。ご意見を参考に、障害のある人のアート活動について追記します。
18	03 共生社会実現 に向けた生涯 学習の支援	八王子市は全国有数の学園都市であり、市内には多くの学生がいて、美術大学もある。その特色をいかして、アート活動で美大生と障害者とがコラボする機会を設けてほしい。学生と障害者が連携することで、アート活動を通じて互いに学べる環境が生まれると思う。	共生社会実現に向けた生涯学習の支援として、大学生と障害のある人との芸術を通じた協働活動は、とても有意義なことと考えます。現在のところ、美術大学と障害のある人が共に芸術活動を行う機会はありませんが、連携できる機会を設けられるように、大学等に働きかけていきます。

基本施策2 学びから広がる地域づくり ～いかす・つながる～

19	06 学びをいかし、みんなが つながる環境 の充実	他市(府中市)には「市民企画講座の募集」という施策がある。実績のない講座も開催できる敷居の低さに好感がもてる。	日頃の学習成果を市民に還元することは、生涯学習を推進するうえで、大切であると考えます。日々の学習成果を発表する機会としては、年1回、生涯学習フェスティバルを開催しています。ご意見は、今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。
20	06 学びをいかし、みんなが つながる環境 の充実	自然豊かな高尾を中心に「レイチェル・カーソン」が唱える「センスオブワンダー」を学ぶ意欲の醸成に繋げて欲しい。	今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
----------	-----------------	-------	-------

基本施策3 学びを支える基盤づくり

21	08 学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	施策 025「生涯学習機会の情報の発信」において、SNS の取組が紹介されているが、これは個別の情報発信であり、市の生涯学習プランの内容は伝わらないと思う。八王子市生涯学習の公式ホームページを設けることを提案する。	八王子市ホームページにおいて、現行の八王子市生涯学習プランを紹介するページを設け、内容も閲覧できるように情報発信しています。 今後はさらに、生涯学習に役に立つ講座情報を提供するウェブサイトを構築します。
22	08 学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	生涯学習の拠り所となる相談できる体制を作る。	施策 024「生涯学習の相談体制の充実」にあるように、今後も市民の方にご利用いただきやすい相談体制を引き続き整えます。
23	08 学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	ホームページに旧学習支援委員のリーフレットが掲載されている。学習支援委員をいかしたいのであれば、できる限り早く更新して欲しい。	学習支援委員の紹介など、ホームページなどによる情報発信については、常に最新の情報が提供できるように取り組みます。
24	08 学びのきっかけとなる情報の提供・学びの提供	小学校の空き教室を生涯学習活動の場として利用したい。小学校は地域住民にとって身近な施設であり、週1回程度でも生涯学習活動ができるとよい。	開放教室事業では市内3校の小学校の教室を生涯学習活動等に利用に開放していますが、今後、地域づくり推進事業を進めていく中で整理していきます。
25	09 生涯学習環境の整備	視覚障害者がプールや体育館などで更衣室を利用するとき、ガイドヘルパーが必要である。ガイドヘルパーが異性である場合、通常のように同行し、更衣室を利用できないことから、多目的更衣室を用意して欲しい。	現状の施設では多目的更衣室を専用で設置することは困難ですが、各施設において申出があった際には、合理的な配慮に基づき可能な限り対応ができるように努め、生涯学習へ参加しやすい環境づくりに努めます。

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
26	09 生涯学習環境 の整備	八王子市に 3,000 人程度いると推測される中高年（40～64 歳）のひきこもり者を探し出し、懐柔し、生涯教育を施し、社会参加させ、ひいては年収アップを目指す。時間がかかり、忍耐力、ノウハウが必要で、成果も保証されないが、やる価値はある。	社会とのつながりが希薄となっている方にも、生涯学習活動を通して、地域とつながるきっかけとなるように取組を進めます。
27	09 生涯学習環境 の整備	生涯学習が、住んでいる身近な地域で広がる段階に移っていただければと期待しております。遠くまで歩けない人、移動に困っている人が増えてきています。	本市は市域が広いこともあり、身近なところで生涯学習活動に取り組める環境づくりが求められていると考えています。生涯学習施設の充実を通して、学びたいときに集える場所の確保に努めます。

その他

28	その他	小学校高学年、中学校で英語教育について、外国人教師を多数採用し、英語教育を推進してほしい。	これまでにネイティブスピーカーの音声教材の作成や、小学校教員の英会話研修などを行うとともに、外国語指導助手（ALT）を全小・中学校に配置し、教員と協力して授業を行っております。
29	その他	学習の森（地域）を作る。図書館、博物館など学習・教育に関する施設を文教地区として集結する。	施策 026「生涯学習環境の充実と活動の場の提供」にあるように、「八王子駅南口集いの拠点整備」では、公園、歴史・郷土ミュージアム、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリーを整備します。
30	その他	教育委員のメンバーを一新する。	教育委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、議会の同意を得て、市長が任命しており、任期は四年となっています。

通し 番号	該当項目 (施策の展開)	意見の要旨	市の考え方
31	その他	1人でも多くの方にモンテッソーリ博士の子育ての知恵が伝わることを願っている。	今後、生涯学習プランを推進していく上での参考とさせていただきます。